

平成30年7月10日

平城高校の生徒・保護者の皆様へ

奈良県教育委員会  
教育長 吉田 育弘

平素は本県教育に御支援、御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

県立高等学校適正化実施計画案が県議会において可決されました。生徒数が大幅に減少する中、生徒急増期に新設した奈良市の普通科3校を、地球規模で物事を考え地域で行動する生徒に育って欲しいとの思いから、県立国際高校と県立大学附属高校に再編することがこれからの本県教育に必要であると判断いたしました。これら2校は「魅力と活力あるこれからの高校づくり」を牽引する役割を果たすと考えています。

6月8日の公表からこれまでの間、保護者の皆様から多くの手紙やメール、電話などを頂戴いたしました。その多くは生徒の皆さんが勉強に集中できず心配しているという内容のものでした。6月27日には、平城高校関係者の方から募集継続を要望する20,694筆の署名を受け取らせていただきました。また、6月17日に開催されました保護者会でいただいた御意見も担当課より報告を受けております。

これらの御意見から、平城高校は、多くの生徒が学業や部活動、学校行事に励み、地元朱雀地区の住民の皆様と交流を深め、地域に育てられ、地域に愛されている学校であることを強く感じています。そのような取組を新設する高校でさらに発展させていきたいと思っております。また、生徒の皆さんには、平城高校での学びを誇りに思い、人生を自ら創出してくれることを切に望んでいます。

平城高校生のこれまでの足跡である卒業記念品や部活動の表彰記録また学業の記録は、皆さんの学舎に保管します。卒業証明書等の発行についても現在の事務室で行います。卒業してからのクラス会等で必要な場合は、従来どおり学校を利用していただけます。皆さんの高校生活の思い出の場所として大切に参ります。

来年度に平城高校に入学する皆さんの後輩は、平城高校最後の卒業生になることとしました。今後は、生徒の皆さんが来年度入学生とともに、安心して高校生活を送り、未来に向かって力を存分に発揮できるよう学校を支援することが、県教育委員会としての最大の務めであると思っております。詳細につきましては、今後も学校と連携しながら進めて参りたいと考えています。

現在の高等学校教育、そして未来の高等学校教育が充実したものとなるよう教育長として全力を尽くして参る所存です。保護者の皆様におかれましても、どうか御理解を賜りますようお願いいたします。